

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立開成中等教育学校 前期過程 第3学年 159名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 (スポーツ体験) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	札幌らしい特色ある教育の「雪」について、以下の4点をねらいとして学校行事として取り扱う。 ・北方都市の特性を活かした札幌らしいウィンタースポーツ（カーリング）に親しみながら運動する。 ・自分や仲間の健康と安全に十分に配慮し活動する。 ・心身の健康の保持や体力の増進に役立てる。 ・オリンピック講師の指導のもと生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度の育成を図る。
5 取組内容	本校の学校行事で行っている冬のスポーツ体験の集大成として第3学年ではカーリングを実施。（1年次：歩くスキー、2年次：スケート）。カーリングはオリンピック競技にもなり、スタジアムができた札幌でも身近となったスポーツである。北方都市ならではの冬のスポーツの楽しみを増やすことを目的とし、講師の方からはオリンピックについてやカーリングの基礎基本を教わり、試合に挑戦する。 ○指導計画 [学校行事] 3時間×3セッション（1日日程） （実技2時間、講義1時間） ・カーリング場のキャパシティを考慮し本校3学年を3部に分け、時間差で実技と講演を実施した。 ・実技では10人1グループに対し講師（1名）。 ・講演は55人を1セッションとして3回実施。

6 主な成果	・本年度からカーリングの学習を実施することとなり、事前にカーリングのルーツやルールなどを学んだ。カーリングって何？スポーツなの？といった疑問をもった生徒もいたが、実際に体験し、楽しさを肌で感じた生徒からは、「これはスポーツだ」「頭と体をすごく使う」というような感想があった。もちろん、またやってみたいという感想も多数あり、企画者としては冬のスポーツはゲレンデスキー以外にもたくさんの魅力的なスポーツがあることを伝えることができたことは成果として捉えている。 ・オリンピックの話は対談形式で実施され、オリンピックの意義、選手村の様子など実際に肌で感じたことをお話ししていただけた。生徒にとっては憧れのオリンピックから生の声を聞くことができたことは大変有意義で、貴重な時間となった。 ・平昌オリンピックの時期に実施したことで、カーリング競技を観る意識が変化し、より主体的に取り組もうとする姿や、行事後も話題にしている生徒の様子から、実施時期や内容に
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	・カーリング体験を通して、冬のスポーツに継続的に取り組もうとする姿勢を育てるため、より一層のプログラムの充実を検討したい。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。